

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成25年10月17日 (2013.10.17)

【公開番号】特開2012-60292(P2012-60292A)

【公開日】平成24年3月22日 (2012.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-012

【出願番号】特願2010-199695(P2010-199695)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/222 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/222 B

H 0 4 N 5/91 J

G 0 6 T 1/00 3 4 0 A

G 0 6 T 1/00 2 0 0 A

H 0 4 N 5/232 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月4日 (2013.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

上記課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明の画像処理装置は、

特定の人物を含む複数の人が存する複数の画像を取得する取得手段と、前記特定の人物が有する特徴部を優先度と対応付けて複数の人物について記憶した特徴部記憶手段と、前記取得手段により取得された複数の画像において、前記特徴部記憶手段に記憶された優先度に基づいて特徴部を夫々検出する検出手段と、この検出手段によって夫々検出された特徴部を、前記記憶手段に記憶されている特徴部に基づいて夫々評価し、評価値を算出する算出手段と、この算出手段によって算出された評価値に基づいて記録すべき撮像画像を選択する選択手段と、を備えたことを特徴としている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の画像処理装置において、

前記算出手段は、前記特徴部記憶手段に記憶された複数の人物毎に評価値を算出し、前記選択手段は、この算出された評価値に基づいて、前記夫々の撮像画像から人物を含む画像領域を抽出する抽出手段と、この抽出手段によって抽出された画像領域を合成する画像合成手段と、を含むことにより、記録すべき撮像画像を選択することを特徴としている。

請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置において、

前記取得手段は、前記複数の画像を連続して撮像する撮像手段を含むことを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 4 に記載の発明の画像選択方法は、

特定の人物を含む複数の人が存する複数の画像を取得する取得ステップと、予め前記特定の人物が有する特徴部を優先度と対応付けて複数の人物について記憶したメモリから優先度を読み出し、前記取得ステップにて取得された複数の画像において、この優先度に基づいて特徴部を夫々検出する検出ステップと、この検出ステップにて夫々検出された特徴部を、前記メモリに記憶されている特徴部に基づいて夫々評価し、評価値を算出する算出ステップと、この算出ステップにて算出された評価値に基づいて記録すべき撮像画像を選択する選択ステップと、を含むことを特徴としている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 5 に記載の発明のプログラムは、

予め特定の人物が有する特徴部を優先度と対応付けて複数の人物について記憶したメモリを備える画像処理装置のコンピュータを、前記特定の人物を含む複数の人が存する複数の画像を取得する取得手段、この取得手段により取得された複数の画像において、前記メモリに記憶された優先度に基づいて特徴部を夫々検出する検出手段、この検出手段によって夫々検出された特徴部を、前記メモリに記憶されている特徴部に基づいて夫々評価し、評価値を算出する算出手段、この算出手段によって算出された評価値に基づいて記録すべき撮像画像を選択する選択手段、として機能させることを特徴としている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特定の人物を含む複数の人が存する複数の画像を取得する取得手段と、

前記特定の人物が有する特徴部を優先度と対応付けて複数の人物について記憶した特徴部記憶手段と、

前記取得手段により取得された複数の画像において、前記特徴部記憶手段に記憶された優先度に基づいて特徴部を夫々検出する検出手段と、

この検出手段によって夫々検出された特徴部を、前記記憶手段に記憶されている特徴部に基づいて夫々評価し、評価値を算出する算出手段と、

この算出手段によって算出された評価値に基づいて記録すべき撮像画像を選択する選択手段と、

を備えたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記算出手段は、前記特徴部記憶手段に記憶された複数の人物毎に評価値を算出し、

前記選択手段は、

この算出された評価値に基づいて、前記夫々の撮像画像から人物を含む画像領域を抽出する抽出手段と、

この抽出手段によって抽出された画像領域を合成する画像合成手段と、

を含むことにより、記録すべき撮像画像を選択することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記取得手段は、前記複数の画像を連続して撮像する撮像手段を含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の画像処理装置。

【請求項 4】

特定の人物を含む複数の人が存する複数の画像を取得する取得ステップと、

予め前記特定の人物が有する特徴部を優先度と対応付けて複数の人物について記憶したメモリから優先度を読出し、前記取得ステップにて取得された複数の画像において、この優先度に基づいて特徴部を夫々検出する検出ステップと、

この検出ステップにて夫々検出された特徴部を、前記メモリに記憶されている特徴部に基づいて夫々評価し、評価値を算出する算出ステップと、

この算出ステップにて算出された評価値に基づいて記録すべき撮像画像を選択する選択ステップと、

を含むことを特徴とする画像選択方法。

【請求項 5】

予め特定の人物が有する特徴部を優先度と対応付けて複数の人物について記憶したメモリを備える画像処理装置のコンピュータを、

前記特定の人物を含む複数の人が存する複数の画像を取得する取得手段、

この取得手段により取得された複数の画像において、前記メモリに記憶された優先度に基づいて特徴部を夫々検出する検出手段、

この検出手段によって夫々検出された特徴部を、前記メモリに記憶されている特徴部に基づいて夫々評価し、評価値を算出する算出手段、

この算出手段によって算出された評価値に基づいて記録すべき撮像画像を選択する選択手段、

として機能させることを特徴とするプログラム。